

オンライン授業を受けるための準備

この文章は、主に新入生のみなさんがスムーズにオンライン授業を受けられるように、様々な情報をまとめたものです。利便性を重視して、外部サイトの引用が多く掲載されていますが、引用されているリンク先の情報は、古くなったり、大妻女子大学のケースがあてはまらないこともありますので注意してください。また、この文章自体も状況の変化に合わせて更新していきますので、利用の際は最新版を必ず確認してください。

目次

[講義前に済ませておきたい準備](#)

[オンライン授業とは](#)

[オンライン授業を受ける場所と機器、ネットワーク環境の準備](#)

[ノートパソコンまたはデスクトップパソコン](#)

[マイク](#)

[カメラ](#)

[Office365の設定](#)

[Responアプリの設定](#)

[Responアプリを利用する方法（奨励）](#)

[ブラウザからResponを利用する方法（非奨励）](#)

[大妻女子大学で使用される、教育のためのICTシステム](#)

[大妻Webメール](#)

[UNIVERSAL PASSPORT（通称UNIPA）](#)

[manaba・Respon](#)

[図書館](#)

[Zoom](#)

[Google Meet](#)

[Google Drive・YouTube（外部サービス）](#)

[その他](#)

[注意事項](#)

[謝辞](#)

[出典・リンク](#)

講義前に済ませておきたい準備

オンライン授業を受講する前に理解しておいた方がよいことや準備についてまとめました。

オンライン授業とは

オンライン授業には大まかに、①同時双方向型と、②オンデマンド型の2つのタイプがあります。①同時双方向型は、面接授業に近い環境で行われる授業で、教員と学生が互いに映像・音声等によるやりとりをライブで行うタイプです。原則的に時間割に合わせて受講することになるでしょう。②オンデマンド型は、同時・双方向である必要はなく、配信される授業資料に合わせ、毎回の授業後速やかに質疑等の指導や学生の意見交換を併せて実施するタイプです。配信される授業資料を学生が自主的に学習し、課題を提出するような進め方になるでしょう。①と②を組み合わせて実施される場合もあります。

授業の形態は授業ごとに異なりますので、受講にあたっては、担当講師の説明をよく聞いて、授業の形態に合わせて受講してください。なお、手持ちの機器やネットワーク環境、サーバダウン等のトラブルが生じた場合には、通信回復後できるだけ速やかに授業担当者やクラス指導主任に申し出てください。

オンライン授業を受ける場所と機器、ネットワーク環境の準備

オンライン授業を受けるときには、特に①同時双方向型の授業の場合には、できるだけ静かな場所で高速の通信環境を整えていることが望ましいです。無線LANでの通信が安定しない場合には有線LAN（イーサネット）の方が通信は安定します。

受講に必要な機器については以下に概要をまとめます。卒業までを見据えてパソコンの新規購入を考える場合には、[こちら](#)の情報を参考にしてください。

ノートパソコンまたはデスクトップパソコン

manabaを通じた課題やレポート作成には、キーボードやマウスがついているパソコンがあった方が便利です。しかしパソコンの購入を義務づけているわけではありませんので、タブレット端末やスマートフォンを利用した受講でも仕方ないと考えます。ただし、操作画面等がパソコンとは異なる場合がありますので、求められた操作等ができない場合には遠慮なく申し出てください。

台数に限りはありますが、大学からノートパソコンを借りることも可能です。希望者は4月27日配信の「オンライン授業の準備・受講について」をUNIPAから確認してください。

マイク

パソコンやタブレット、スマートフォンに付属のマイクでも構いませんが、周囲の雑音やキーボードの打刻音を拾いやすい、スピーカーから出る音声をマイクが拾ってしまうハウリングを起こす可能性があるため、可能であればイヤホンマイクやヘッドセットを準備できると、よりクリアな音声で講義を聞くことができます。

カメラ

パソコンやタブレット、スマートフォンに付属のカメラで充分です。受講者数の多い授業などでは通信負荷を下げるために、むしろカメラの使用を奨励しない場合もあるかと思いま

す。受信する学生側でカメラ映像の受信（ON/OFF）を設定することにより、データ通信容量を減らすこともできます。データ通信に制限がある場合、ネットワークが混雑していて映像や音声途切れがちになる場合には、各プラットフォーム（例）Zoom, Meetなど）に応じてカメラのOFF設定をすることをおすすめします。逆に少人数のゼミ等では、カメラをONにしたディスカッションなどが奨励されることもあるかと思います。

データ通信の制限については、[携帯大手3社が一部無償化する救済措置](#)を発表しました（4月24日、NTTに加え、[KDDI, ソフトバンクが救済措置を5月末まで延長する](#)ことが決まりました）。この救済措置は25歳以下の学生、生徒、児童が対象であるため、救済措置を希望する学生は契約時に自分の年齢が登録されているかなど、自分が適用対象であるかどうか、確認をしておいてください。

また、コロナ対策によるオンライン授業が急遽導入されたことにより、予想以上にデータ通信量がかさむ可能性もあり得ます。講義担当教員はできるだけ通信環境に配慮した授業設計を行うよう努力をしていますが、個々の通信環境の違いや履修科目の違いが大きいため、すべての学生のケースを想定するのは難しい状況です。自分の使用容量を定期的にチェックして、双方向型授業への参加や授業資料の受け取りに支障が出ないように務めてください。たとえば、1週間の講義を通して受けてみて、その4倍の通信量で月のデータ使用量をまかなえるか、予想をしてみましょう。もしトラブルが生じそうな場合には、早めに担当教員に相談しましょう。参考資料として、東京大学人文情報学大向先生による[オンライン講義の通信量](#)の情報がありません。

Office365の設定

大妻女子大学では、マイクロソフト社との包括ライセンス契約により、在学生全員が卒業までの間、最新のOffice365を無償で使用できます。お手持ちのパソコンやタブレット、スマートフォンに、一人あたり15台までインストール可能です。このサービスを利用するには、コタカIDとコタカパスワード(学内システム利用アカウント)が必要になります。

Office365の利用方法については[UNIPA](#)からダウンロードできる「Office365ProPlus利用について(学生用)」をよく確認してインストールしてください。

Responアプリの設定

[Respon](#)は大妻女子大学のe-learningシステムmanabaと連携して使用できるリアルタイムアンケート・出欠管理システムです。使用する授業と使用しない授業があると思いますが、出欠管理のために使用する授業が増えると考えられるため、あらかじめ準備しておくことをおすすめします。

Responを使用するには、①Responアプリを利用する方法と②ブラウザを利用する方法があります。①Responアプリを利用する方法を奨励します。


Responアプリを利用する方法（奨励）

Responアプリを利用するには、みなさんがお持ちのスマートフォンやタブレットにあらかじめインストールし、サーバを設定しておく必要があります。アプリインストールの方法はこちらの[ドキュメント（ppt（304Kb））](#)あるいは[こちらの動画](#)（Youtube）から見るができます。

設定するサーバ名：<https://otsuma.respon.jp>

サーバ名を入力するとmanabaへのログインが求められます。manabaにログインすると、サーバがResponアプリに登録されます。
授業内での詳しい使い方は[respon](#)を見てください。

ブラウザからResponを利用する方法（非奨励）

ブラウザからResponを利用する場合には、各コースにある  ボタンをクリックして利用します。授業内での詳しい使い方は[respon](#)を見てください。



The screenshot shows the Manaba interface for a course titled "練習用コース(宮崎 美智子先生)". At the top, there is a header with the university logo, date (2020-04-27), and user information (宮崎 美智子). Below the header, there are tabs for "マイページ" and "コース". The "コース" tab is active, showing the course name and a "respon" button. Below the course name, there are buttons for "小テスト", "アンケート", "レポート", "プロジェクト", and "成績". To the right, there are buttons for "コース設定", "提出記録", and "コースメンバーリスト". The main content area has three sections: "コースニュース" (Course News), "スレッド (更新順)" (Threads), and "コンテンツ (更新順)" (Contents). Each section has a "作成" (Create) button and a "一覧" (List) link. The footer contains the Manaba version (2.94), copyright information, and a link to the manual.

manaba 2.94
Copyright © 2013 Asahi Net, Inc. All Rights Reserved. [マニュアル](#) 

大妻女子大学で使用する、教育のためのICTシステム

大妻Webメール

大学での連絡に活用してください。設定・操作マニュアルはこちらの「[学生生活の手引き](#)」内にあります。manabaからの更新情報がリマインダとして送られてくる場合があります。更新情報自体はmanabaからしか見られませんので、通知があった場合は必ずmanabaにログインし、当該記事を開いてチェックするようにして下さい。manabaの記事は必ず最後までスクロールして下さい。最後までスクロールすることではじめて閲覧履歴（既読）がつきます。

UNIVERSAL PASSPORT（通称UNIPA）

操作マニュアルは[こちら](#)からアクセスできます。教務に関する通知があるため、毎日のようにチェックすることが大切です。UNIPAから配信されるメールを転送メール等で受け取っている場合、添付ファイルは受け取れないので注意してください。添付ファイルはUNIPAにログインした状態でないと閲覧できません。情報の受け取り漏れに注意してください。

manaba・Respon

授業資料の受け取り、課題提出、ドリル、テスト、グループワーク等に使用するe-learningシステムです。学生向けマニュアルは[こちら](#)からアクセスできます。使用するには学内システム利用アカウントが必要です。情報の受け取り漏れを防ぐため、manabaに新しいお知らせや書き込みがあった場合に、それらの更新情報をユーザが登録しているメールアドレス宛に送信する[リマインダ機能](#)は有効にしておきましょう。更新情報がある場合には、必ず読んでください。manabaの記事は必ず最後までスクロールして下さい。最後までスクロールすることではじめて閲覧履歴（既読）がつきます。

出欠管理や授業内アンケートが実施できるResponは、アプリをスマートフォンやタブレットに[インストールしてmanabaと連携させる](#)ことができます。また、manaba内のリンクからも使用できます。基本的にmanabaと連携して使いますが、manabaが使用できない時でも単独で使用できます。

教員から示される9桁の数字のIDを打ち込んで、出席を記録したり、アンケートに答えたりできます。manabaのアンケートと異なるのは、投票の様子がリアルタイムに可視化されたり、その場でアンケートを作成できたりする部分です。

図書館

図書館には、通常学内からのみ使用できるデータベース（新聞記事検索など）がありますが、コロナ対策のため、自宅のPCやスマートフォンから各種データベースに臨時でアクセスできる方法を調整中です。利用可能なものから順次UNIPAで知らせますので、UNIPAからの連絡に注意してください。

Zoom

Web会議システムで、リアルタイムで遠隔講義するのに使用されます。多くの授業で使用されますので、使い方を学んでおいて下さい。

Google Meet

Web会議システムで、リアルタイムで遠隔講義するのに使用されます。多くの授業で使用されますので、使い方を学んでおいて下さい。

Google Drive・YouTube（外部サービス）

manabaには1ファイル当たり10MBのファイルしか置けないため、それ以上の容量のファイルなどのやり取りや視聴の際にこちらを案内されることがあります。動画視聴も通信量がかかりますので通信制限のある学生は注意してください。参考サイト：[YouTubeアプリ](#)
[データ通信量どれくらい使うか検証 | 節約、ギガ死対策も紹介](#)

その他

周知事項はUNIPAやmanabaに加えて、各専攻HPに掲載されることもあります。こまめにチェックをするようにして下さい。

注意事項

オンライン授業のコンテンツを、担当教員の許可なく再配信・再送信・再配布すること、及び、授業の内容を録音・録画し、それを公開することは著作権法に抵触しますので行わないで下さい。

Google MeetのミーティングのURLやGoogleドキュメントなどの教材のURLをSNSなどを使って他人と共有することは避けてください。これが原因で第三者が授業に侵入した場合、本学学則にも抵触する可能性があります。

オンラインで行われる授業の様子を出席者の許可なく写真にとり、それをSNSなどで共有することも行わないようにお願いします。許可なく授業の様子を撮影した写真（スクリーンショットも含む）を投稿することは情報倫理に違反し、肖像権を侵害することになります。

謝辞

本資料は社会情報学部情報デザイン専攻の宮崎美智子先生から提供いただきました。オンライン授業運営部会より深く感謝致します。

出典・リンク

大向一輝（2020）[オンライン講義の通信量](#) 最終アクセス日 2020/5/1

東京大学（2020）[オンライン授業・Web会議ポータルサイト](#) 最終アクセス日 2020/5/1

[YouTubeアプリ データ通信量どれくらい使うか検証 | 節約、ギガ死対策も紹介](#)

最終アクセス日 2020/4/29/